

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（ 総合政策課 政策推進室 進化プラン係 ）

タイトル
令和6年度ふるさと納税事業について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
令和6年度の本市へのふるさと納税寄附額が、8億1,873万8,302円（前年度比約1.97億円増）となり過去最高額の寄附金額しました。 また、寄附件数は32,938件（前年度比約4.7千件増）で、こちらも過去最高件数となりました。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
寄附額増加の主な要因は、以下のとおりです。 ①人気返礼品であるウイスキーやいちごの返礼品への寄附の増加 ➡市内の工場で貯蔵しているニッカウヰスキーの「フロム・ザ・バレル」が返礼品の中でも1番人気となっております。 ②寄附申込受付サイトの増加（17サイト）による幅広い経済圏へのPR強化 ➡5/14には18サイト目となるファミリーマートのポータルサイトを開設しました。 ③多様な新規返礼品の追加による寄附額の底上げ ➡市内にある蔵元「仙禽」の季節限定酒や、桜並木の伐採木を活用した三菱鉛筆のジェットストリーム多機能ペンなどを新たに掲載しました。 今年度も、更なる寄附額増加と地場産品のPRを進めてまいります。
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
総合政策課 政策推進室 進化プラン係 担当：篠原 028-681-1113

※ 1案件ごと1枚作成してください。

令和6年度ふるさと納税事業について

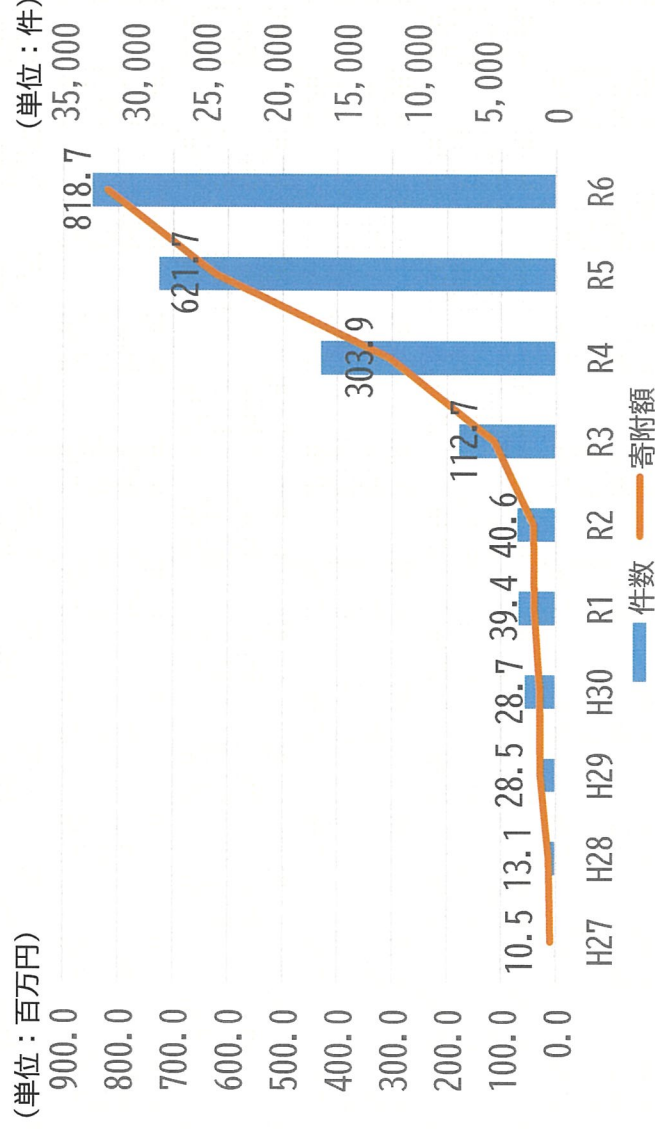
令和6年度のふるさと納税は、寄附総額が8億1,873万8,302円(約1.97億円増)、寄附件数が32,938件(約4.7千件増)となり、いずれも過去最高となりました。

二ツカウエスキーやいちごの返礼品への寄附額の増加のほか、受付サイトの増加(17サイト)による幅広い経済圏へのPR強化、多様な新規返礼品の追加による寄附額の底上げ等が増加の要因となりました。

寄附総額および件数(詳細)

年 度	寄附額(円)	件 数(件)
H27	10,579,060	59
H28	13,147,388	541
H29	28,527,873	1,041
H30	28,745,049	2,161
R1	39,407,318	2,646
R2	40,628,834	2,685
R3	112,739,365	6,834
R4	303,997,246	16,676
R5	621,719,009	28,180
R6	818,738,302	32,938

寄附総額および件数の推移 (過去10年間)



別記様式（第 7 条関係）

記者会見連絡票

所属部署（ 総合政策課 政策推進室 進化プラン係 ）

タイトル
地域おこし協力隊員の着任について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
令和 7 年 5 月 1 日に、新たに 4 名の地域おこし協力隊員が着任しました。任用中の隊員を含めて、合計 9 名が農業や商工観光分野で地域活動に取り組んでいます。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
別添資料参照
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
総合政策課 政策推進室 進化プラン係 担当：岩崎 028-681-1113

※ 1 案件ごと 1 枚作成してください。

地域おこし協力隊員の着任について

令和7年5月1日に、新たに4名の隊員が着任しました。（農政課2名、商工観光課2名）
任用中の隊員を含めて、合計9名の地域おこし協力隊員が地域活動に取り組んでおります。

1 新規隊員

【農政課所属】

- ① 活動概要：農作業支援及びイベント参画、
農業PR活動 等
- ② 活動拠点：農政課、市内農業法人及び農家
- ③ 事業目標：農業に係る地域協力活動に取り組み、
任期後の定住（就農等）を図る。
- ④ 新規隊員：石田 友瑞（いしだ ゆず）隊員
（千葉県鎌ヶ谷市から移住）
釜口 愛望（かまぐち あみ）隊員
（東京都目黒区から移住）



石田 友瑞 隊員



釜口 愛望 隊員

【商工観光課所属】

- ① 活動概要：SNS等を活用したPR活動、
観光施設等における地域協力活動 等
- ② 活動拠点：商工観光課、市内観光関連施設
- ③ 事業目標：観光に係る情報発信等の地域協力活動
に取り組み、任期後の定住を図る。
- ④ 新規隊員：甘糟 里奈（あまがす りな）隊員
（埼玉県川口市から移住）
齊藤 遥（さいとう はるか）隊員
（千葉県東金市から移住）



甘糟 里奈 隊員



齊藤 遥 隊員

2 今後の展開

地域おこし協力隊については、今後も継続して制度を活用することで、首都圏や大都市等から本市への移住を促進させ、本市での就農や起業等の推進を図りたいと存じます。また、任期後の定住を目指す隊員へのサポートも、引き続き進めてまいります。